

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム南串山荘

目標達成計画

作成日: 令和 元年 11月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化委員会の話し合いが持たれているが、設置状況や委員会開催の記録の整備が不十分、記録類の整備と対処法などの周知を行い、身体拘束に関する理解を深める取り組みを望む。	身体拘束適正化委員会の記録をきちんとまとめ、全職員で今まで以上に理解とあり方を考え、統一したケアに繋げて行く。	記録の書式を作り、分かり易く情報交換が出来るよう整備を行い、施設内や外部での身体拘束における研修など積極的に参加し、理解と技術の向上を行っていく。	6ヶ月
2	4	運営推進会議は定期的で開催されているが、会議の参加者や議題が固定されている。また、地域からの参加が不足しており、時期に沿った議題内容の工夫や参加者の増員など、運営推進会議の理解に繋がられるよう期待します。	協議内容の工夫や、地域住民への参加呼びかけなどを行い、施設運営を知っていただくと共に、幅広い意見やご指導をいただき、サービス向上に繋げて行く。	協議内容を見直し、ヒヤリハットの報告や身体拘束適正化委員会の報告など幅広く事業所の取り組みの理解を得ていく。また、地域住民の参加呼びかけを行い、沢山のご意見が頂けるよう努力していく。	12ヶ月
3	36	有事の際の地域との協力関係が構築までに至っていない。今後、近隣住民と顔の見える関係づくりや消防団への働きかけなどを行うと共に、風水害計画書策定や自然災害訓練実施など利用者様の安心、安全に繋がる取り組みに期待したい。	風水害の計画書を作成し、自然災害の訓練に取り組んでいく。利用者様の安全の為、近隣住民との協力体制の構築を行っていく。	災害計画書の作成を行い、職員全員に周知し、自然災害に向けた訓練や話し合いを行っていく。また、近隣住民や消防団などの協力体制を構築し、万が一に備えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。